



11月末現在の筑穂地区の人口(前月比)

4,404世帯 (-2)
男：4,296人 (-10)
女：4,732人 (-1)
合計：9,028人 (-11)

福岡県指定無形民俗文化財

大分の獅子舞300周年



獅子舞

フェスティバル開催！！



12月1日(日)大分八幡宮境内にて、県指定無形民俗文化財「大分の獅子舞」が300周年となる記念イベント「獅子舞フェスティバル」が行われました。

飯塚市・嘉麻市内にある11地区の獅子舞が集結し、大分の獅子舞が優雅に1番手を飾りました。その後それぞれの獅子が舞い、最後は椿の獅子舞で締めくくられました。

会場では筑穂の特産品を紹介したり、獅子舞体験が出来るコーナーがあり、また、餅まきやお楽しみ抽選会など、賑やかな催しものも行われ、来場者は永きにわたり受け継がれる伝統行事を堪能していました。



年末年始 休館日のお知らせ

筑穂交流センター・筑穂ふれあい交流センター・筑穂体育館・筑穂グラウンド

12月29日(日)～1月3日(金)はお休みです。

皆さま良いお年をお迎えください。来年もよろしくお願いたします。



～子どもを守る会大分地区会議～

大分地区「どんど焼き」開催のお知らせ

家内安全・無病息災を祈り、良い1年にしましょう！！
ご家族やご友人とぜひご参加ください♪

日時：1月11日(土) ※小雨決行
(受付:11時～、点火:11時30分)

場所：大分小学校 グラウンド

*「しめ飾り」や「書初め」はお焚き上げしますので、ぜひご持参ください。

*「どんど焼き」の準備を手伝える方は、当日朝8時に集合して下さい。



*「どんど焼き」は何のまつり？

「どんど焼き」は、お正月に使った正月飾りを処分する手段としてとらえている方もおられるかもしれませんが、実は正月飾りを目印に各家庭に来て下さった年神様がお帰りになるときに「お焚きあげ」した煙とともに「見送る」という意味が込められています。

お焚き上げの炎が高く舞い上がると「字がうまくなる」とか「賢くなる」とか言われ、書初めを焚き上げる人も多くみられます。正月飾りなどを燃やした火で餅などを焼いて食べると縁起が良いとされ、五穀豊穡や無病息災・商売繁盛などのご利益につながるといわれています。

*「どんど焼き」の由来は？

どんど焼きの起源は諸説ありますが、「左義長(さぎちょう)」に由来しているという説が有力です。

左義長とは、平安時代、正月15日の夜に宮中で行われていた火祭りのことで、「糞杖(ぎつちょう)」という子どもたちの遊びで使われていた杖を正月飾りやお札などと一緒に焚き上げ、陰陽師がその年の吉凶を占っていたそうで、これが現在のどんど焼きの形になったといわれています。

*地域によって呼び方がちがう「どんど焼き」

大分地区では「どんど焼き」と呼んでいますが、全国各地でその呼び名はいろいろあります。

東北地方では「どんと焼き」、長野・山梨周辺は「道祖神祭」、静岡では「さいと焼き」、京都など関西の一部や北陸周辺では、「左義長」、中国地方では「とんど焼き」、九州地方では「鬼火焚き、ほうけんぎょう」などと呼ばれているそうです。



茜さす

～ノーベル平和賞～

被爆者が差別や偏見を乗り越え、生涯をかけて訴えてきたことが全世界に認められました。10月11日(金)に今年のノーベル平和賞が発表されて、広島・長崎の被爆者で作る日本被団協「日本原水爆被害者団体協議会」の受賞が決まったのです。

ノーベル平和賞に選ばれた日本被団協「日本原水爆被害者団体協議会」は、1956年の結成以来、被爆者の立場から長年「核兵器廃絶」を訴えてきました。この地道な活動が、受賞決定の主な理由だそうです。

被爆を体験した人々の高齢化が進む今、ノーベル平和賞受賞決定は、「核兵器廃絶」を語り継いで活動している若い世代にとっても大きな後押しになったと感じました。

筑穂交流センター
地域活動指導員 松原 潔

